

熊本商工会議所
2005年経済予測アンケート
結果報告書

KEY WORD

- ★ 景気の現状、回復予測…足踏み状態ながらも、わずかに回復傾向
「足踏み」58%、「やや好転」24%
 - ・ 時期は、「05年内」回復は28%、「06年内」が回復10%
そして「既に回復基調」は7%、
- ★ 産業別予測…運輸・通信業が「やや好転」、
他産業は「不変」がトップ
 - ・ 次位の回答は、「製造業」「金融・保険業」「サービス業」が、やや好転
「建設業」「卸売・小売・飲食業」「不動産業」は、やや悪化と予測
- ★ 円・株相場が「やや高」、金利相場は「不変」を予測
- ★ 経営上の問題点は「受注、販売競争の激化」が64%でトップ
- ★ 「営業利益」重視、「新規設備投資」に慎重さ続く
- ★ 採用見込みは「欠員補充」42%

熊本商工会議所

2004年12月

<本調査のお問い合わせ>
熊本商工会議所 商工振興部 情報調査課
TEL354-6688 FAX326-8343

熊本商工会議所
2005年経済予測アンケート

I N D E X

1. 調査概要	1
2. 景気	2
3. 産業別予測	5
4. 円市場	9
5. 株式市場	10
6. 金利	11
7. 経営の問題点	12
8. 経営の重視点	13
9. 雇用	17

※巻末…「2005年経済予測アンケート」調査用紙

はじめに

本アンケートは、長引く景気低迷の中、2005年の様々な経済要素を予測し、事業を営む皆様の経営指針における一助となることを目的として平成9年度より実施しており、今回で第8回となります。

回答結果は、「景気」において、現状は「足踏み状態」ながらもわずかに回復傾向がみられ、回復時期については「05年以内」との回答が多いなど、明るい兆しが見えるものとなりました。

加率的に進む業界再編や中心市街地の空洞化など、地域経済は変革期を迎えています。そのような中、本報告書が皆様への情報提供として、微力でもお役に立てれば幸いです。

なお、最後になりましたが、年末期のご多忙の中にもかかわらず、本アンケートにご協力を賜りました当熊本商工会議所役員並びに議員の皆様にご心より感謝申し上げます。

平成16年12月
熊本商工会議所

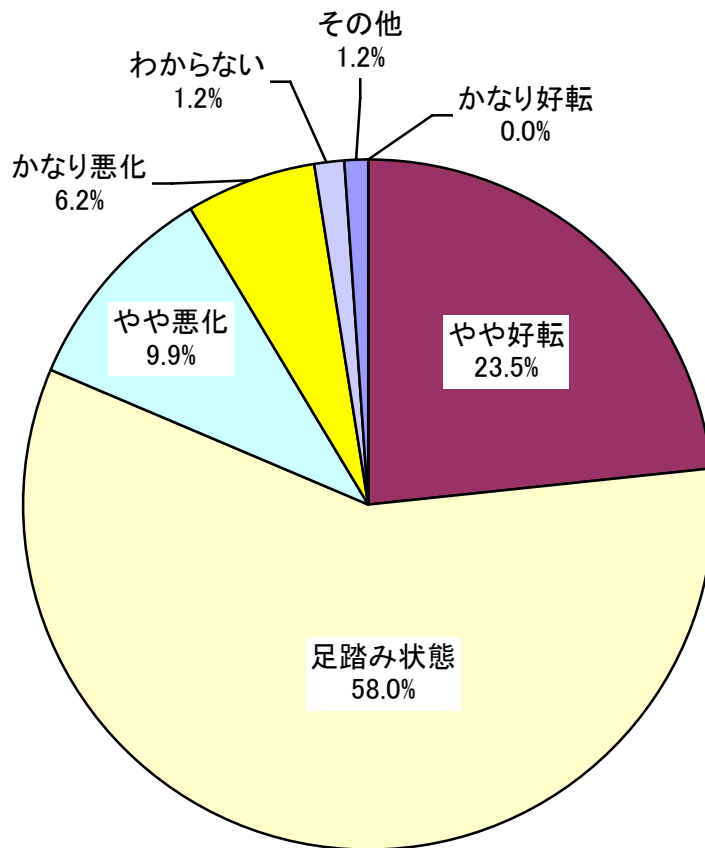
調査概要

1. 調査期間 平成16年11月26日(金)～12月10日(金)
2. 対象者 熊本商工会議所 役員並びに議員
3. 配布数 97名(97企業)
4. 調査方法 調査用紙配布:郵送 調査票回収:郵送またはFAX
5. 回答者数 81名(有効回答率83.5%)
6. 調査機関 熊本商工会議所

2005年 景 気

【景気の現状】

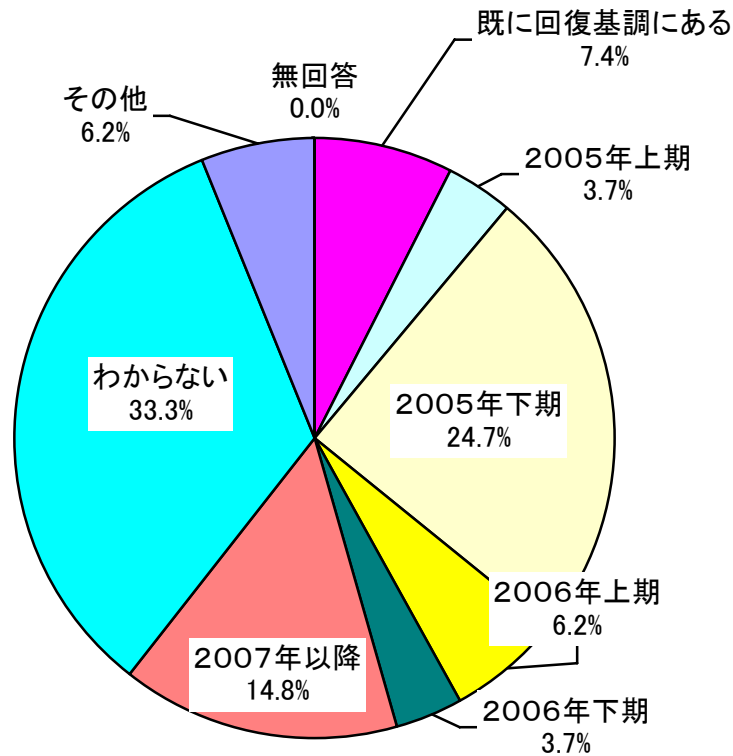
「足踏み状態」58.0%、「やや好転」23.5%



景気の現状(2004年11月下旬時点)について、「足踏み状態」が、58.0%と最も多く、次いで「やや好転」が23.5%、「やや悪化」、9.9%、「かなり悪化」6.2%となった。

「足踏み状態」が過半数以上であったものの、「やや好転」が、「やや悪化」「かなり悪化」を上回り、わずかに明るい兆しが見える結果となった。

【景気の回復時期】 「2006年内」まで45.7%



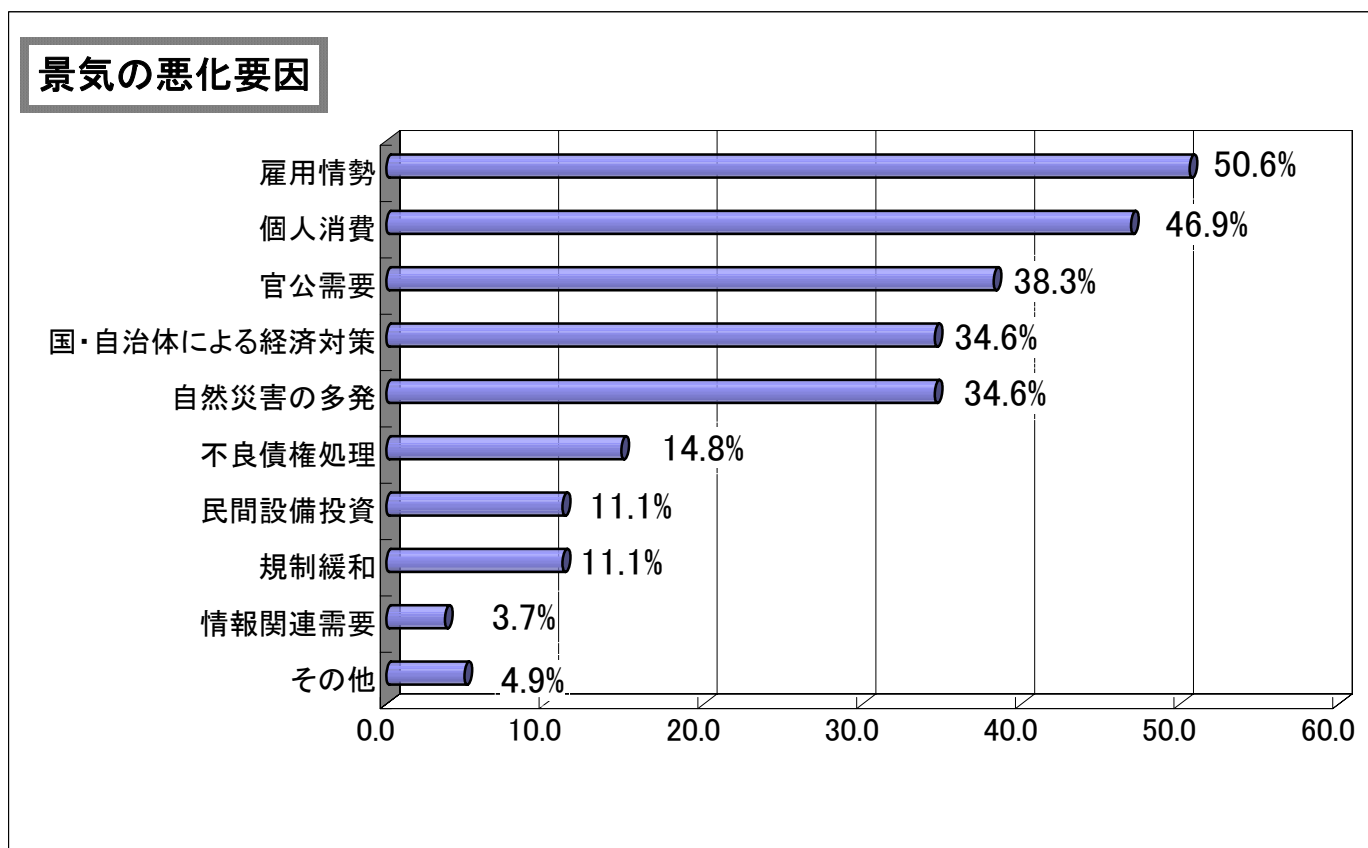
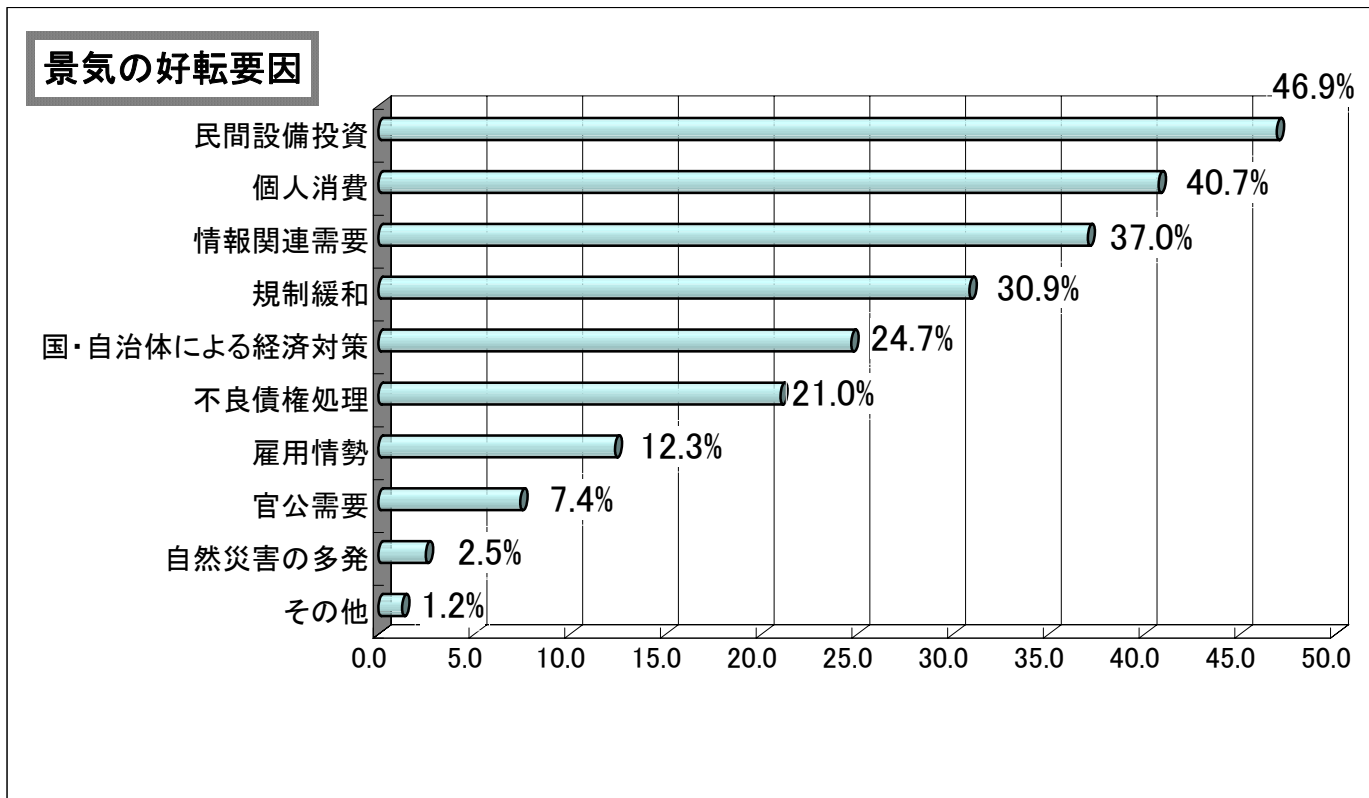
景気が回復する時期については、「既に回復基調」が7.4%あったものの、「2005年内」が上期3.7%と下期24.7%を合わせて28.4%とトップであった。

一方、「2006年内」は上、下期を合わせて9.9%となり、景気回復を「2006年内」までと予測する数字は、「既に回復基調」を合わせると45.7%の結果となった。

【景気の好転、悪化要因】

好転要因は「民間設備投資」「個人消費」が40%超

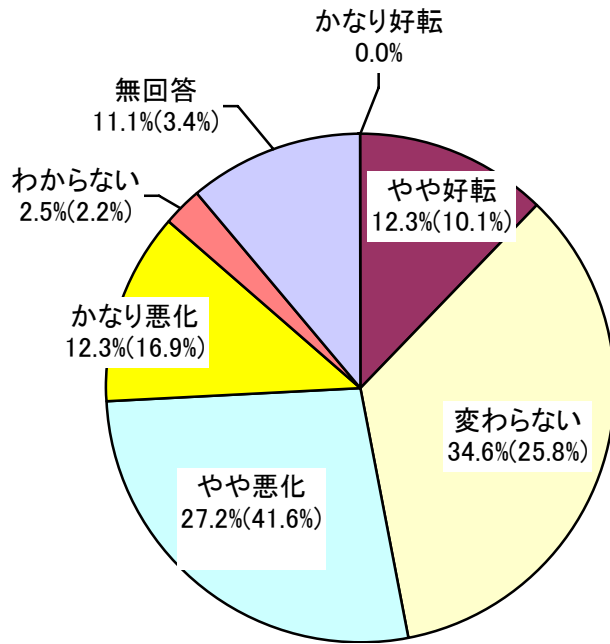
悪化要因は「雇用情勢」が50%超



2005年 産業別予測

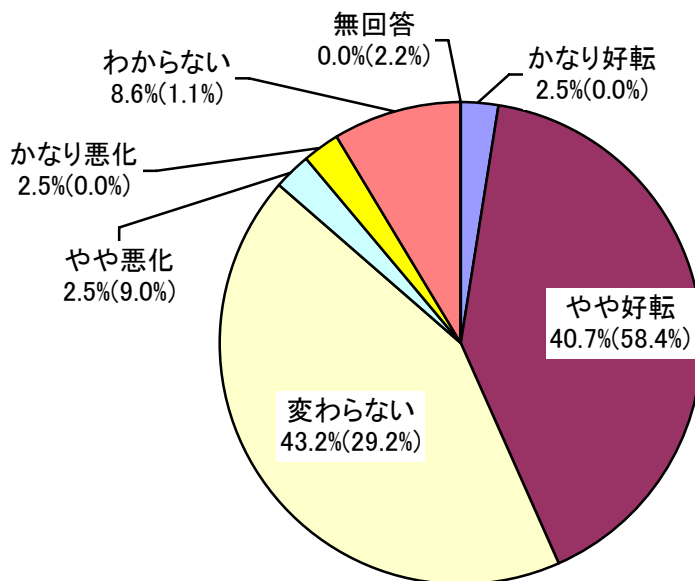
産業別

建設業



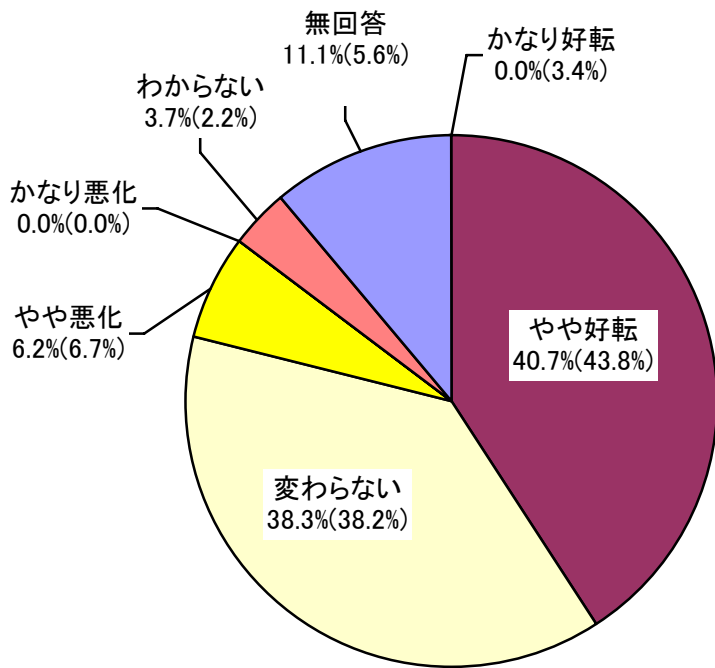
※グラフ内の()については、前年数値(以下同じ)

製造業

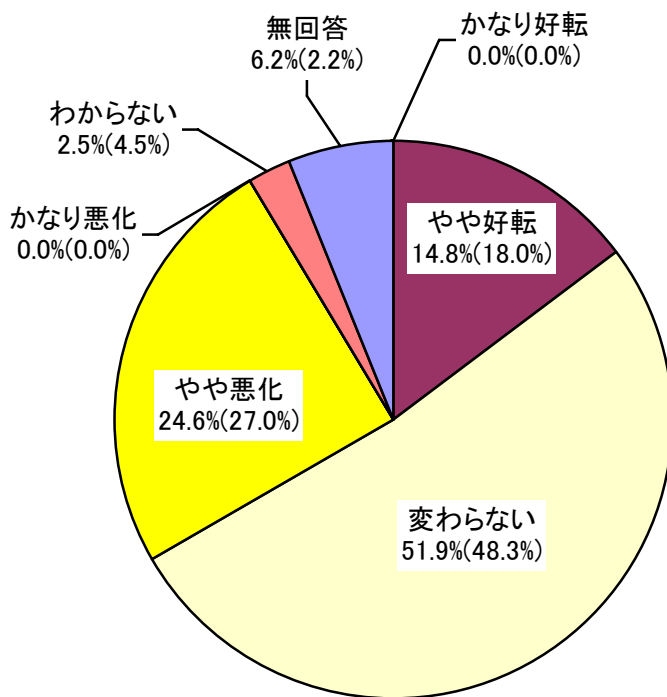


2005年 産業別予測

運輸・通信業

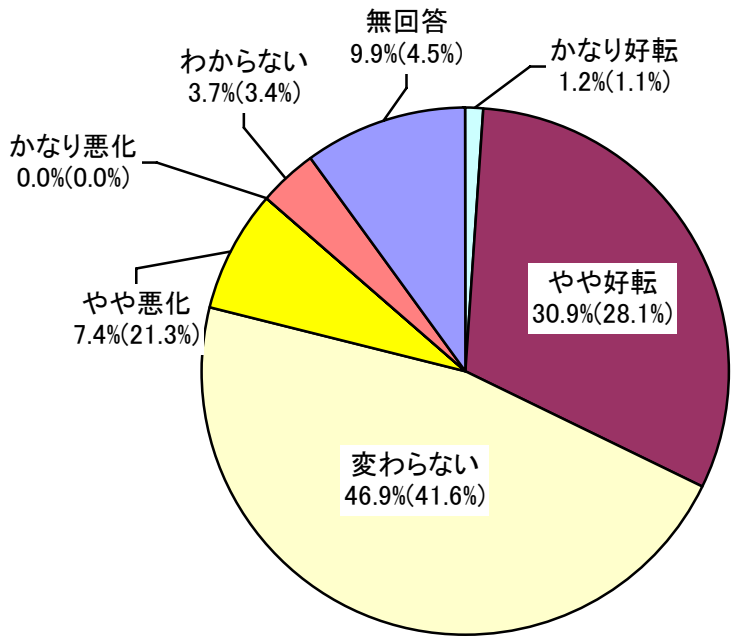


卸売・小売・飲食業

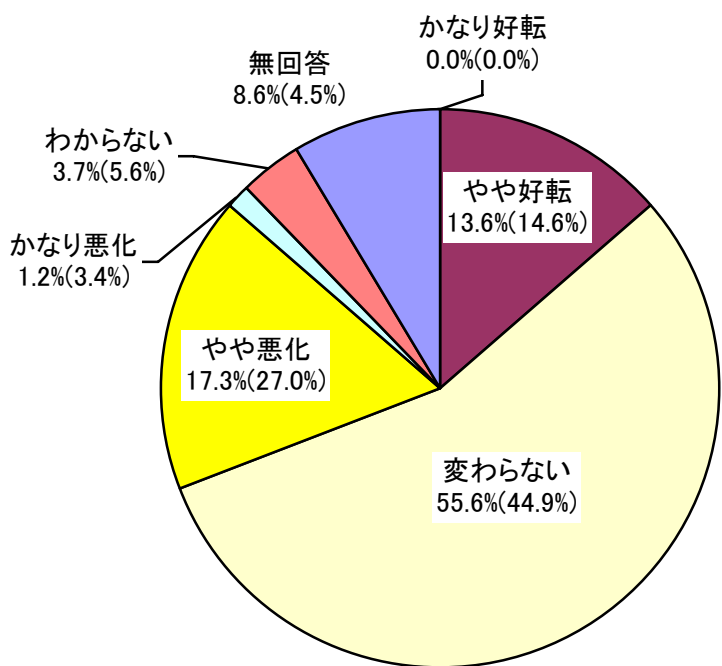


2005年 産業別予測

金融・保険業

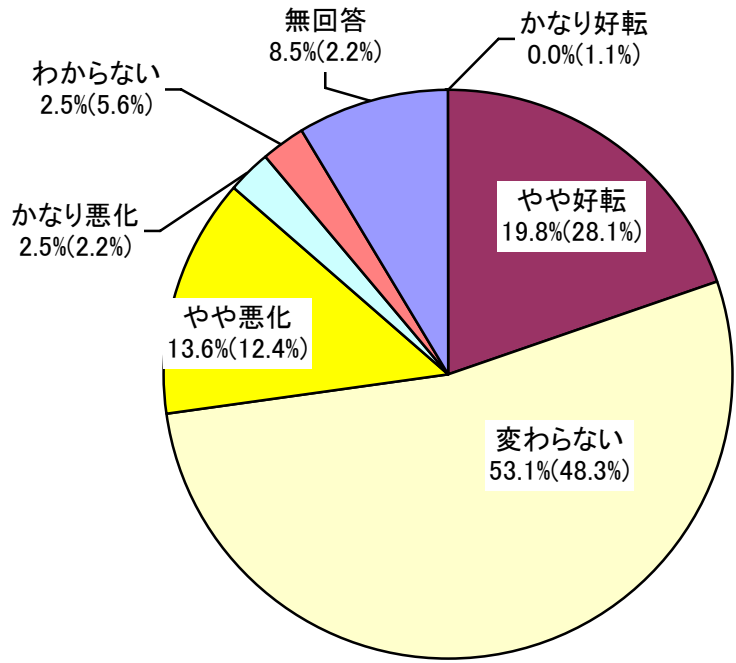


不動産業



2005年 産業別予測

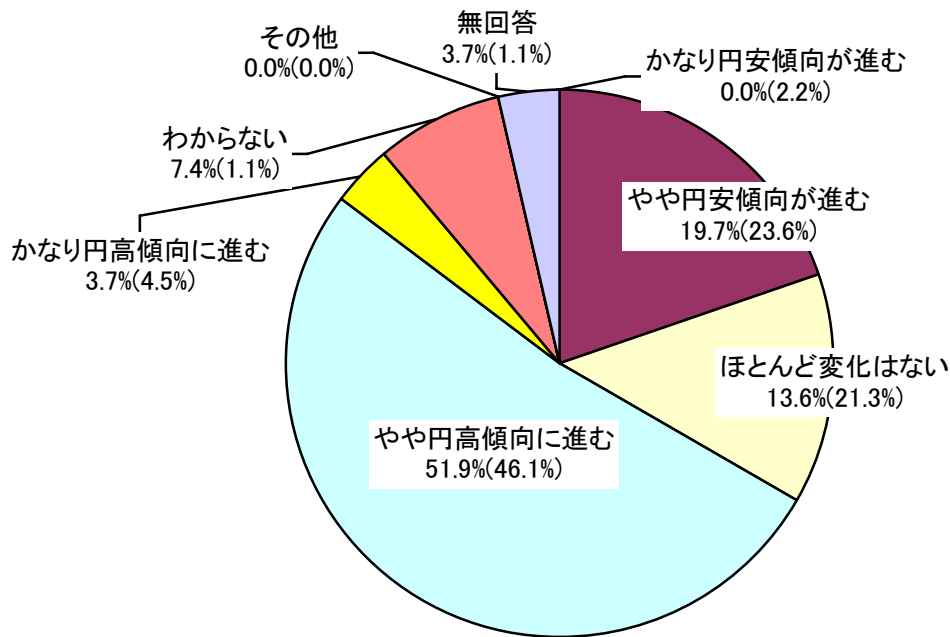
サービス業



2005年 円 市 場

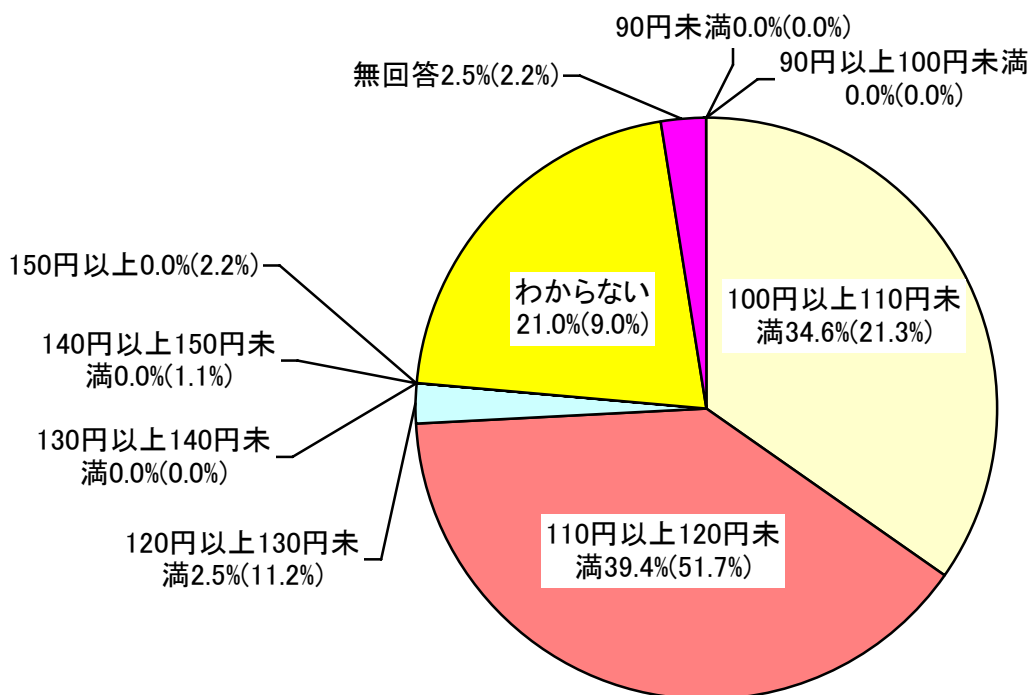
過半数以上の51.9%が「やや円高」を予測

2005年の円市場の推移予測は、「やや円高」が51.9%（対前年比5.8ポイント増）次いで、「やや円安」19.7%（対前年比3.9ポイント減）と円高推移予測が過半数を占めトップとなった。しかし、円安を予測する回答も多いなど、先行き不透明感を反映する結果となった。



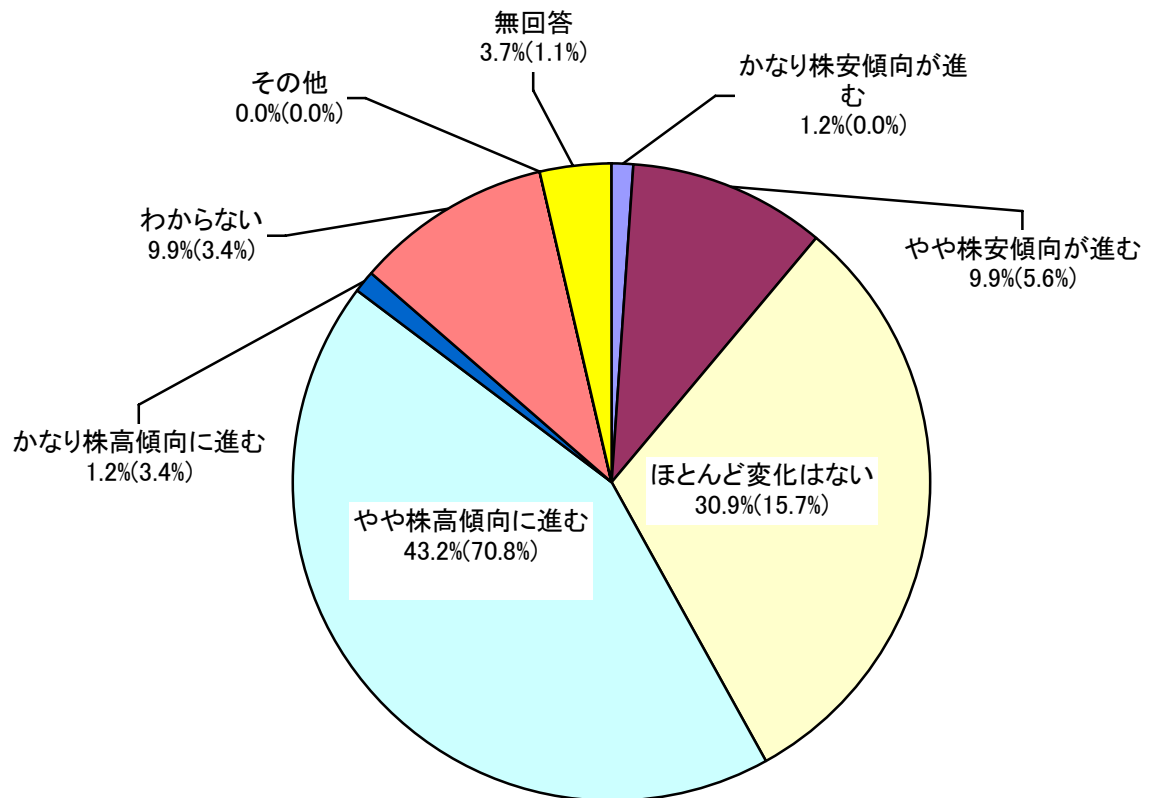
適 正 レ ー ト

「110～119円台」が39.4%、次いで「100～109円台」が34.6%



2005年 株式市場

「やや株高」が43.2%、次いで「変化なし」は、30.9%
～「やや株安」9.9%～

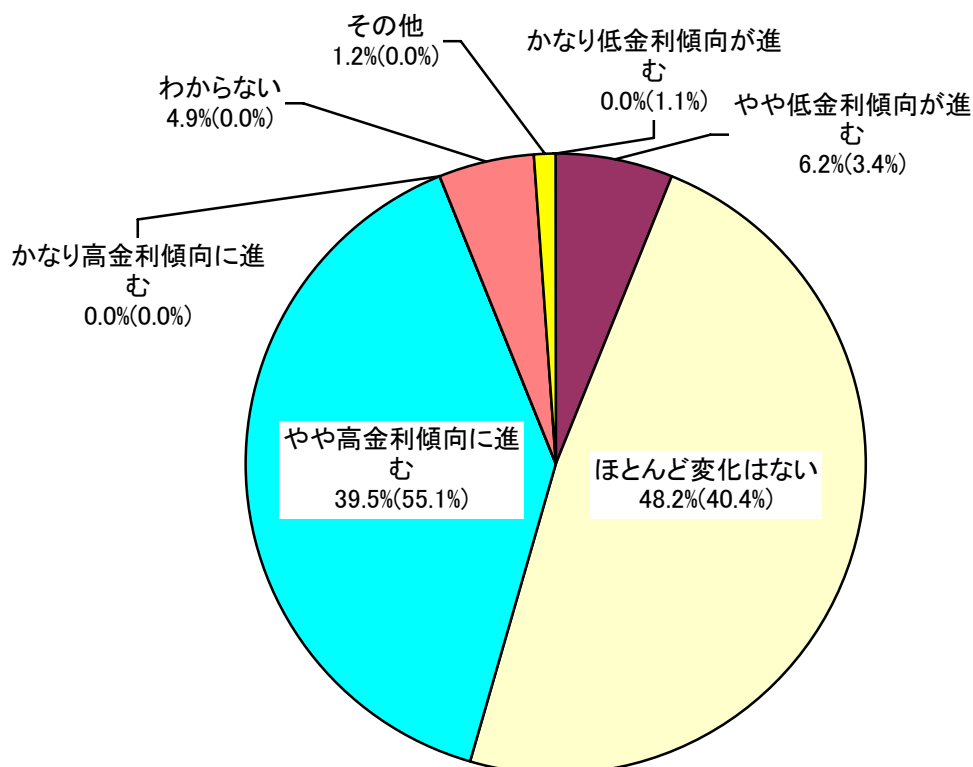


2005年の株式市場の推移予測は、「やや株高」が43.2%（対前年比27.6ポイント減）、次いで「変化なし」は30.9%（対前年比15.2ポイント増）となった。一方、「やや株安」が9.9%（対前年比4.3ポイント増）となり、不安定さを感じる結果となった。

2005年 金利

「変化なし」48.2%

～「やや高金利」39.5%～

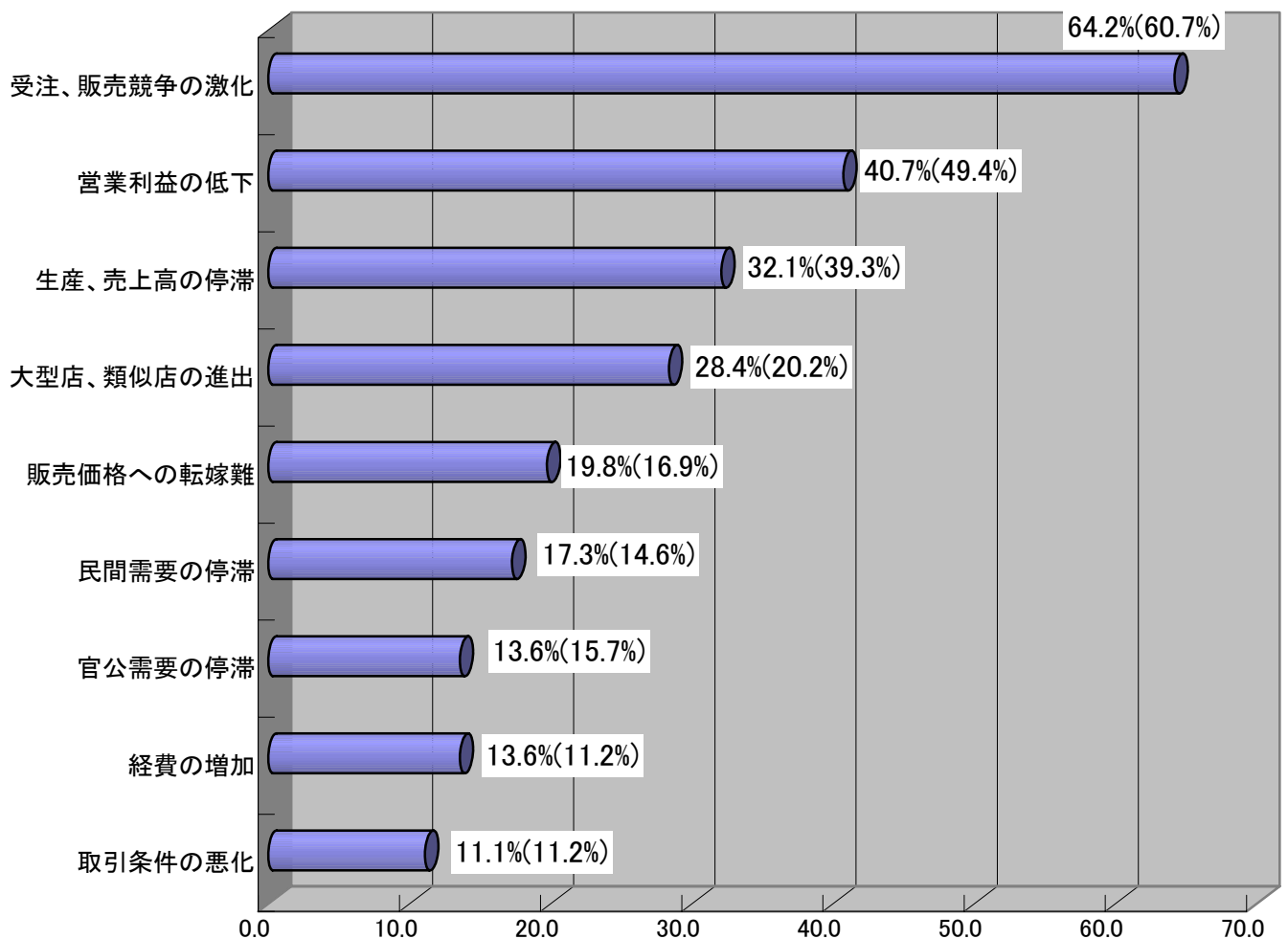


2005年の金利状況予測は、トップが「変化なし」が48.2%（対前年比7.8ポイント増）、次いで「やや高金利」が39.5%（対前年比15.6ポイント減）の結果となった。

2005年 経営上の問題点

「受注、競争の激化」64.2%
～「利益低下」40.7%、「売上停滞」32.1%～

＜主な経営上の問題点＞

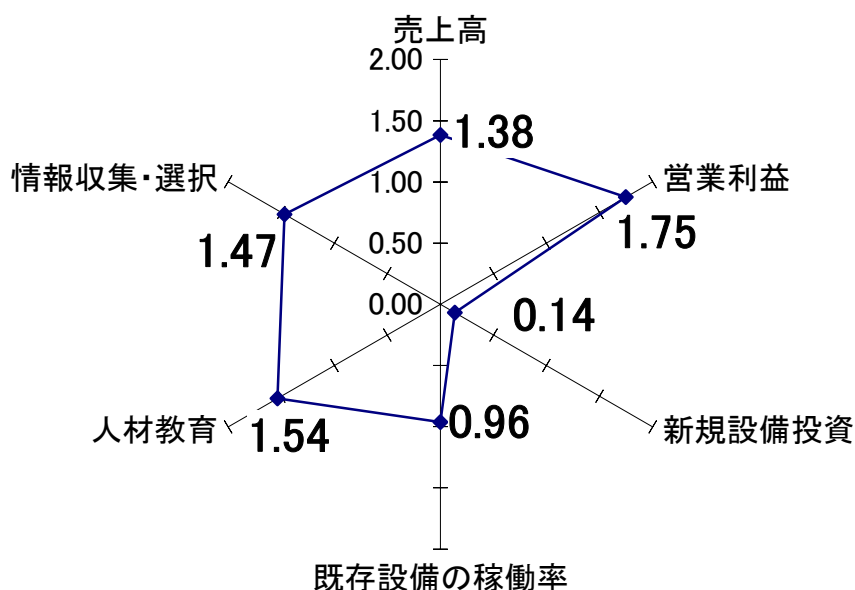


2005年における経営上の問題点としては、「受注、販売競争の激化」が64.2%（対前年比3.5ポイント増）、「営業利益低下」40.7%（対前年比8.7ポイント減）となった。また「大型店進出」が28.4%（対前年比8.2ポイント増）となり、経営環境の変化を背景として、競争激化を懸念する傾向がうかがえる結果となった。

2005年 経営の重視点

「営業利益」重視の傾向が続く

<Radar Chart>



上のレーダーチャートは、「重視度」をポイント換算し作成したもの。

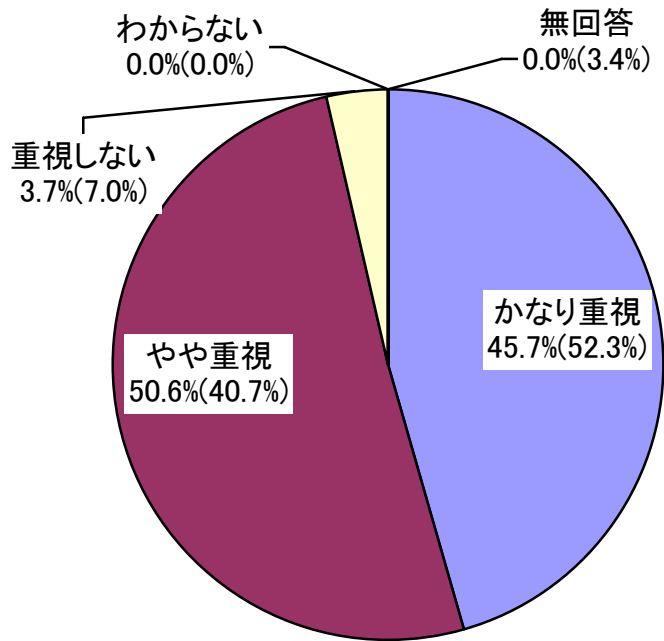
(※)それによると、2005年における経営上の重視度は、「営業利益」「人材教育」「情報」の3つの面で重視ポイントが高く、8年連続して前述3項目が重視上位を占める結果となった。また、「新規設備投資」については、ポイントは低く、依然として慎重な姿勢が窺える。

(※)「かなり重視」をプラス2、「やや重視」をプラス1、「重視しない」をマイナス1としてトータルポイントを算出し、総回答から「わからない」と回答した人数を引いた数で割ったもの

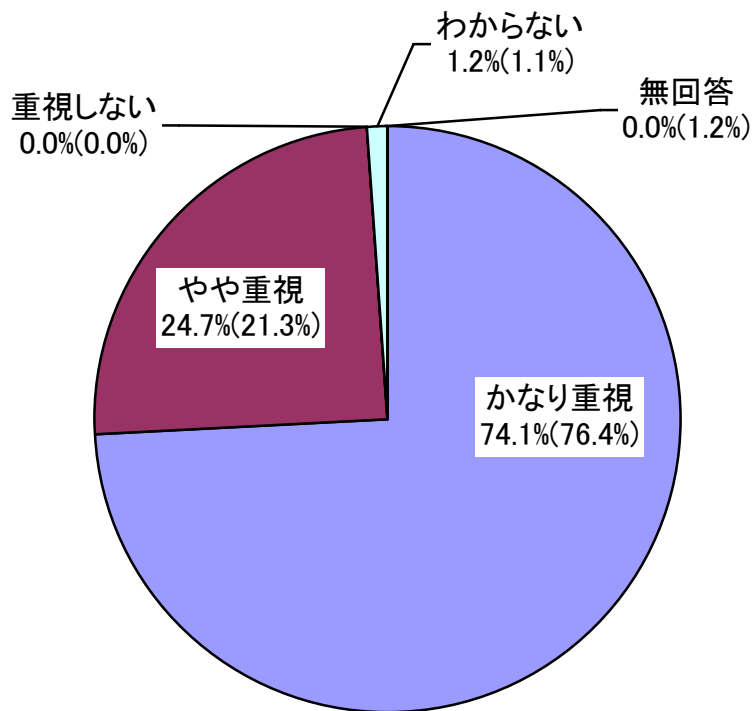
収益面では、売上高を「(かなり+やや)重視する」が96.3%、営業利益を「(かなり+やや)重視する」が98.8%となったが、「かなり重視する」の比較では、売上高の45.7%に比して、営業利益は74.1%と依然として『利益効率』を重視する傾向が窺える。生産面では、新規設備投資を「重視しない」が42.0%(対前年比5.2ポイント減)と依然として慎重さが続いている一方、既存設備の稼働率については、「(かなり+やや)重視」が80.3%という結果となった。

収 益

<売上高> 「やや重視」50.6%

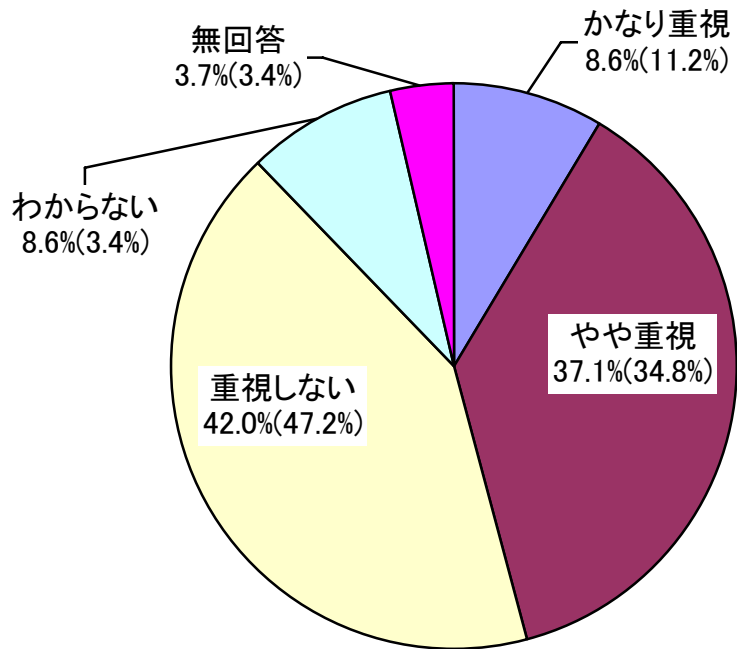


<営業利益> 「かなり重視」74.1%

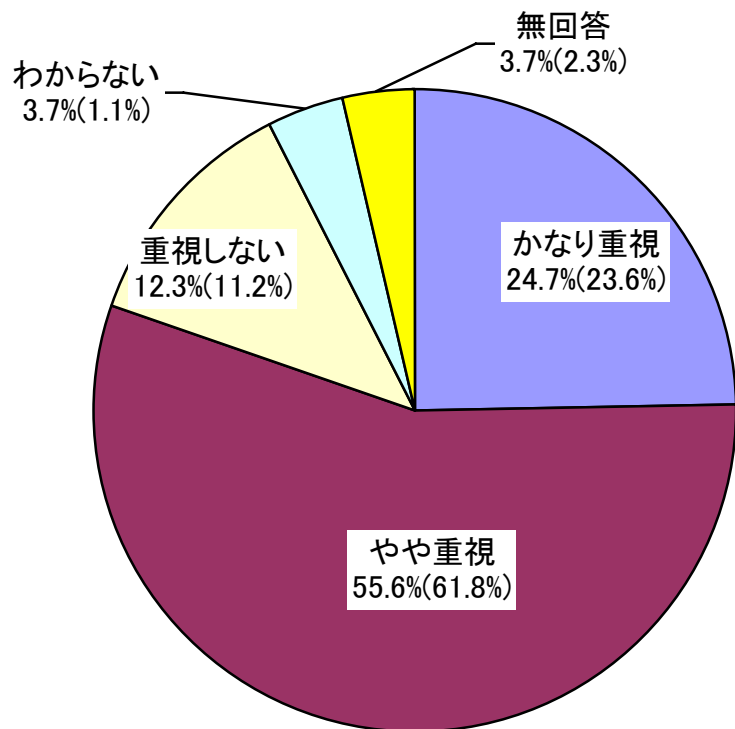


生 産

＜新規設備投資＞「重視しない」42.0%

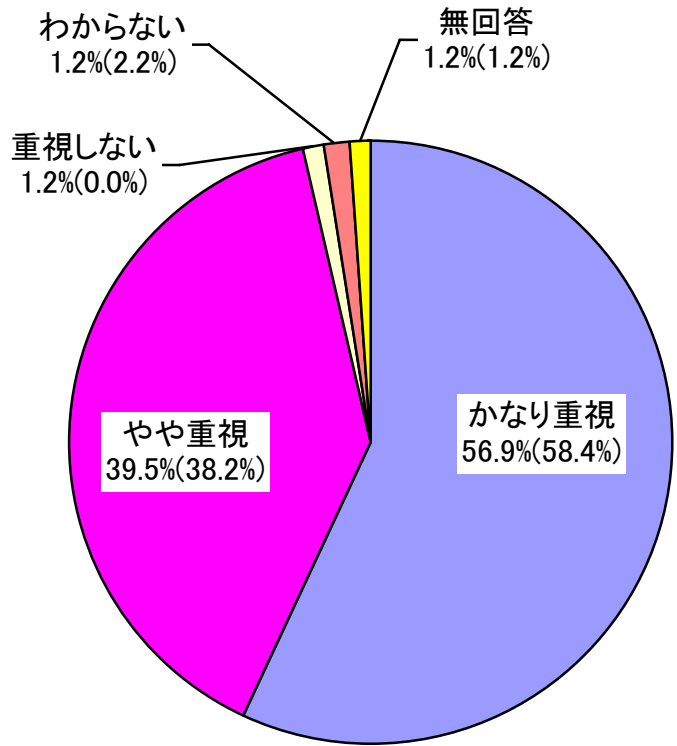


＜既存設備の稼働率＞「やや重視」55.6%

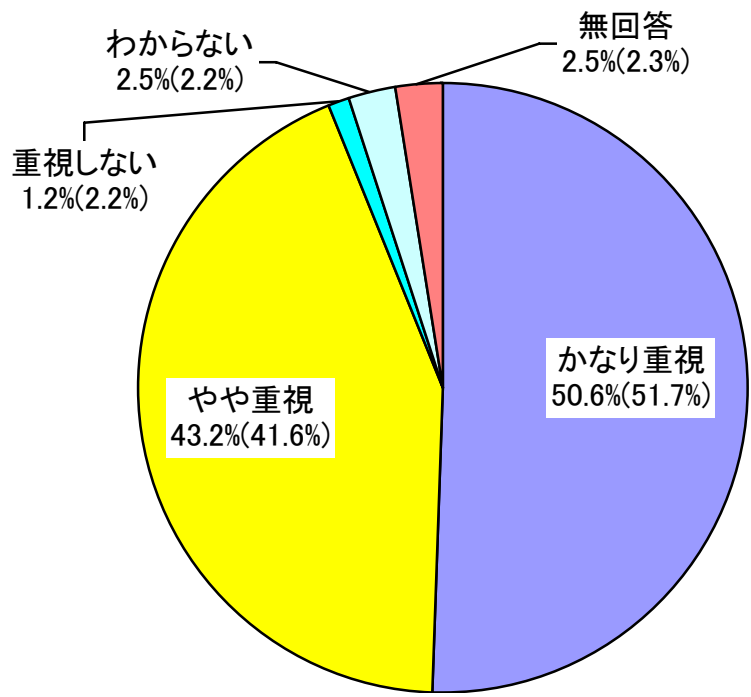


人・情報

<人材教育> 「かなり重視」56.9%

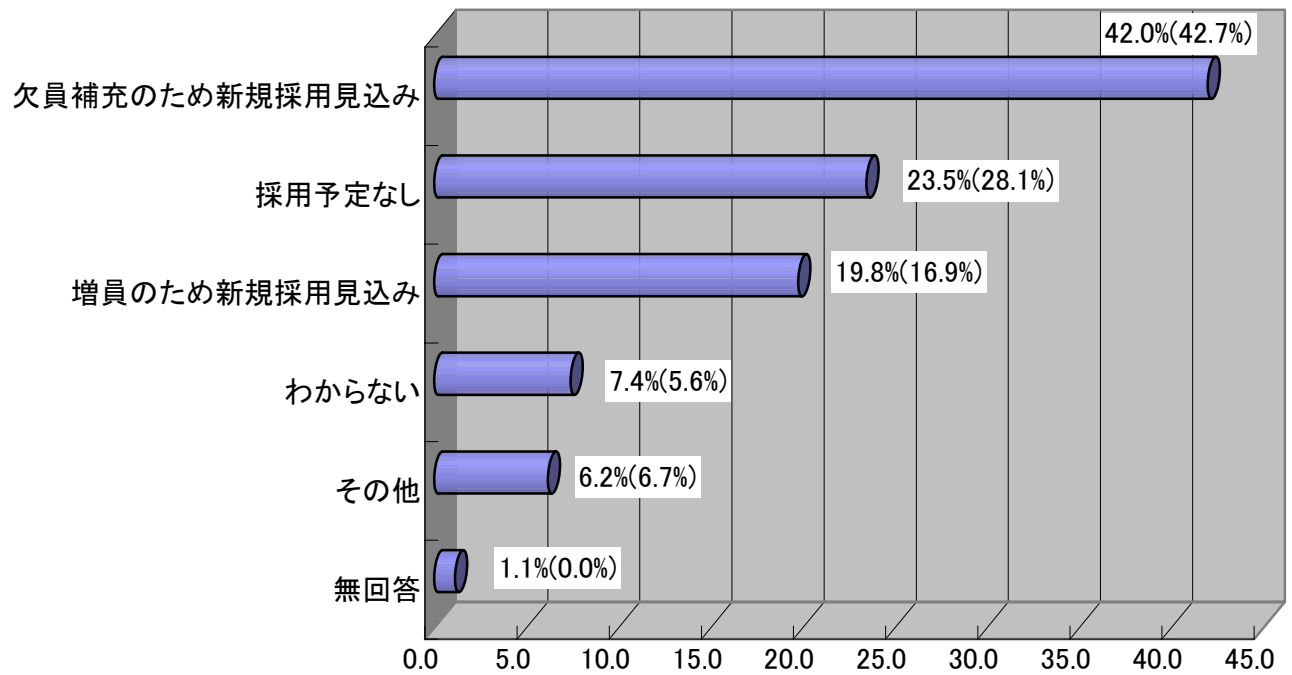


<情報の収集・選択> 「かなり重視」50.6%



雇 用

2005年の社員採用見込み



「欠員補充」の採用見込みが42.0%、次いで「予定なし」が23.5%という結果となった。

熊本商工会議所平成16年度調査事業 2005年経済予測アンケート

ご氏名	
-----	--

景気

Q1 景気の現状について昨年（2003年）11月と比較して、どのようにとらえておられるか下記の中から1つご回答下さい。

- | | |
|-----------|-----------|
| (1) かなり好転 | (2) やや好転 |
| (3) 足踏み状態 | (4) やや悪化 |
| (5) かなり悪化 | (6) わからない |
| (7) その他 (|) |

Q2 県内の景気が回復基調に乗る時期は、いつ頃からと思われますか。下記の中から1つご回答下さい。

- | | |
|---------------|-------------|
| (1) 既に回復基調にある | (2) 2005年上期 |
| (3) 2005年下期 | (4) 2006年上期 |
| (5) 2006年下期 | (6) 2007年以降 |
| (7) わからない | |
| (8) その他 (|) |

Q3 2005年の景気動向について、「期待される要因」と「危惧される要因」に分けて、下記の選択肢から番号でそれぞれ3項目以内でご回答下さい。

【選択肢】

- | | |
|-------------|------------------|
| (1) 個人消費 | (2) 情報関連需要 |
| (3) 官公需要 | (4) 雇用情勢 |
| (5) 民間設備投資 | (6) 国・自治体による経済対策 |
| (7) 規制緩和 | (8) 不良債権処理 |
| (9) 自然災害の多発 | |
| (10) その他 (|) |

期待要因

--	--	--

危惧要因

--	--	--

経営の重視点

Q10 2005年における貴社の経営上、重視される点についてどのように予測されますか。なお、本問では回答集約の都合上、選択肢を下記の6項目に限定させて頂いております。該当の□欄にレ印をお付け下さい。

	① かなり重視する	② やや重視する	③ 重視しない	④ わからない
売上高(完工高、取扱高)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
営業利益	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
新規設備投資	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
既存設備の稼働率	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
人材教育	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
情報の収集・選択	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

雇 用

Q11 2005年における貴社の社員採用見込みについて該当する番号を1つだけ○でお囲み下さい。

- | | |
|------------------|--------------------|
| (1) 増員のため新規採用見込み | (2) 欠員補充のため新規採用見込み |
| (3) 採用予定なし | (4) わからない |
| (5) その他 () | |

